

※ 未提出者への督促後に新たに提出（入力）されたレポートも含めた集計結果です

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:14 (74%) ②:5 (26%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:12 (63%) ②:5 (26%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:2 (11%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:10 (53%) ②:9 (47%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:9 (47%) ②:10 (53%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:10 (53%) ②:9 (47%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:13 (68%) ②:5 (26%) ③:1 (5%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:16 (84%) ②:2 (11%) ③:1 (5%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:7 (37%) ②:8 (42%) ③:3 (16%) ④:1 (5%) 未回答:0 (0%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:9 (47%) ②:10 (53%) ③:0 (0%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:10 (53%) ②:8 (42%) ③:1 (5%) ④:0 (0%) 未回答:0 (0%)

**B（問 14～18）：FD活動についてお尋ねします。**

設問 14 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 5 (26%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 11 (58%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
- ④その他： 1 (5%)・・・「統計学習に用いる基礎データの収集」
- 未回答： 4 (21%)

設問 15 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。（複数回答可）

- ①他教員の授業参観： 4 (21%)
- ②学内外の FD 講演会等への参加： 16 (84%)
- ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
- ④その他： 0 (0%)
- 未回答： 1 (5%)

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：17 クラス（順不同）

[1] 情報セキュリティおよび統計学習において習熟度が低い点を考慮し、情報セキュリティでは e-Learning だけではなく、発展として情報セキュリティのマニュアルづくりを、統計学習においては学内の e-learning を利用してのレポート提出を行った。

・・・2 クラス

[2] 教材の難易度を学生の力量に合わせて下げた。そして、受講学生の多くが近い将来、教職に就くことを意識して、初歩的な統計の回では「偏差値」の意味と計算方法を取り上げることにした。・・・2 クラス

[3] 特になし

昨年度はネットワークトラブルが頻発したため、今年度は、無難に講義をすすめることを目標においた。

[4] 本科目は PC を用いた演習科目である。高校時代にマイクロソフト社のオフィス系ソフト(Word・Excel・Power Point)をある程度使った経験がある学生には、本講義の内容は物足りないと感じたようである。

しかしながら、不慣れな学生には難解な内容を含んでおり、予習と復習をせざるを得ない状況であった。教員は、個々人の修得レベルを提出課題等から推察し、講義後や別の時間帯での対応姿勢をとった。

[5] 本科目は、複数の教員による授業で、1 コマ授業に 3 人以上の教員が担当するとともに、TA2 名による補助もあったことから、個々の学生のケアをできたと考える。

[6] この講義では、アプリケーション（Office）の操作方法を学び、今後の専門科目や卒論で問題なくこれらのアプリケーションを活用できることを目的としている。学生間での習熟度合いに違いがあり、講義のレベルや速度の設定が難しい。今年度は TA に加えてサポート教員が加わり比較的スムーズに講義を進めることができた。

[7] TA 以外に、技術職員、助教にもサポートを依頼し、講義に遅れ気味の学生を支援した。

[8] TA を活用し、進捗については平均的な学生よりも少し低いレベルに合わせて講義を行うようにした。

[9] 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させるような授業を心がけた。

[10] わかりにくいとの指摘があった事項について、教材を修正した。

[11] WEB テキストの更新

[12] 必携 PC の設定に関わるコンテンツをパワーポイントではなく WEB 資料として準備することで、作業の進捗状況に応

じて個別に行うことができるようにした。

[13] 地域に関するデータの処理について、統計処理を加えた上でその結果を考察するよう課題を変更し、より発展的に考える機会とした。

[14] 反転授業の割合を高くした。

[15] 今年度は、Google の学習システムである GoogleClass を初めて導入し、出席も電子アンケートで行うなど、授業の全てを電子化することに成功した。

学生はすぐに慣れて、大きな混乱はなかった。

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 10 クラス（順不同）

[1] ネット環境への対応や今後ほかの授業で必要となってくるエクセルやワード及びパワーポイントの使用方法を実践形式で教えたことにより、学生の積極的な参加を可能とした。

[2] 演習科目という特性上、アクティブラーニングは基本姿勢となるが、講義スピードと学生の理解度について細心の注意をはらい授業を進行した。また、PC をスライドに投影した進行は、以外にも見難いことが判明し、後半の講義では講義資料に PC 画面をコピーしたものを使用し、学生の視覚的理解度の向上も図った。しかしながら、一部の学生(PC 経験の少ない者)からは講義で使用する言葉が専門的すぎるとの意見がでた。これについては、教員間で他の学生も含めた講義内容を検討し、受講者全員の理解が得られるよう務めた。

[3] 反省すべき点として、講義初回での各自 PC の設定において、教員の説明が十分理解できておらず、次回以降の講義でトラブルが発生する学生が数名いた。年々、改善されているものの、トラブル対応マニュアルなどを作成しておくことを考えている。

[4] 課題をあらかじめ示し、できた人から先に進ませるようにした。意欲的な学生は、どんどん進んでいった。

[5] 受講生のパソコンの習熟度の差が大きいため、さらなる改善が必要である。

[6] 学生のソフトウェア操作能力の差が大きく、進行が遅れている学生へのフォローをより細かく行う必要がある。

[7] 演習を中心としたので、学生からの声を聞く時間が短かった。

[8] 評価できる点として、授業の内容を演習形式にしてアクティブラーニングを取り入れたことである。反省すべき点として、COC 事業の意向を取り入れられなかったことが挙げられる。そうなった理由として、情報・数量スキルの授業時間を利用して、「受講科目登録」や「安否確認システム登録」、「学習カルテ I への回答」など事務的な作業を行わなければならなかったことが大きい。・・・2 クラス

[9] 数量スキルの点で、統計処理技術の教育ができていない。自分が専門外なので、まだ、教えるべき内容がまとまらない。

いろいろなところで発言しているが、特定の科目に対して教員の適正を無視した内容を要求したり、それにとまなう様々な作業を負わせるのは納得できない。

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

**C (問 19～21) : 中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。**

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 17 (89%)      ②いいえ： 2 (11%)      未回答： 0 (0%)

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

- ①聞いて理解する： 3 (16%)
  - ②読んで理解する： 5 (26%)
  - ③自分の考えをまとめて話す： 6 (32%)
  - ④自分の考えを文章にまとめる： 4 (21%)
  - ⑤討論する： 3 (16%)
  - ⑥皆の前でプレゼンテーションする： 8 (42%)
  - ⑦その他： 2 (11%)・・・「プレゼン用ツールの使い方理解」2 クラス
- 未回答： 2 (11%)

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 12 クラス（順不同）

- [1] わからないことは、学生同士で質問するようにさせた。また、できるだけ、学生に声をかけるように心がけた。
- [2] 情報セキュリティ・倫理の時間を確保して、IT を利用して他者とコミュニケーションをとるときのマナーや常識を紹介した。また、人前でプレゼンテーションをするときによく用いられるパワーポイントの使い方を紹介した。・・・2 クラス
- [3] 単純なレポート作成だけでなく、少人数グループでの話し合いを含めたレポート作成を行った。・・・2 クラス
- [4] スライド作成，原稿作成。
- [5] パワーポイントでスライド作成し，一部の学生に発表を行わせた。
- [6] 自己紹介のプレゼンテーションを行わせた。物事を他人に伝えるための技術・表現方法等について説明した。
- [7] 制限時間内に自己紹介を行うプレゼンテーションを課し，内容やスライドの見やすさ等について評価を行っている。
- [8] TBL で発表資料を作成し，ワールドカフェ形式によるプレゼンテーションを行った結果，全員がプレゼンテーションを体験することができた。
- [9] COC と関連したグループワーク
- [10] 学術的なテーマを選ばせて，一般人向けのビデオコンテンツを作成させた。発表会を行い，学生自身に相互に評価させた。

D (問 22～25)：中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 18 (95%)      ②いいえ： 1 (5%)      未回答： 0 (0%)

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

## 教員 FD 活動レポート（基礎教育）H27 前期 まとめ 情報・数量スキル

① 1～5回： 9 (84%)      ② 6～10回： 2 (11%)      ③ 11～15回： 0 (0%)      未回答： 1 (5%)

5

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

① 歴史・文化： 1 (5%)      ② 政治・経済・産業： 13 (68%)      ③ 自然環境・フィールド体験： 6 (32%)  
④ その他： 3 (16%)・・・「民話」2クラス、「廃棄物」  
未回答： 1 (5%)

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 8クラス（順不同）

[1] 宮崎県の民話「ふるやんもり」をパワーポイントで紙芝居化させた。また、「ふるやんもり」の話は宮崎県だけではなく、日本全国の多数の地域で似たような内容が知られているので、宮崎県のものとの類似点や相違点について調べさせた。・・・2クラス

[2] 森林緑地環境科学科と関連のあるデータとして、宮崎県の林業に関わるデータを用いてアプリケーション（エクセル）の操作・活用方法を学ばせた。

[3] 地域の産業データを県庁のホームページより拝借し、宮崎の地場産業(特に農業)についての理解度の向上を図った。

[4] エクセルで図の作成や統計処理を行うにあたって、宮崎の水産業に関する情報を用いた。

[5] チームで設定した宮崎地域に関するテーマについて、インターネットなどを利用して取得した各種統計情報をもとにグラフや表を作り、これを根拠としてプレゼンテーションを行わせた。

[6] 宮崎の10年後の人口について、分析させ、論理的に考察させるようにさせた。

[7] 宮崎市の過去40年間の気象データ（月別降水量や日照時間等）を使い、どのような変化が見られるか、統計処理を行った上で考察させている。